

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事		平成23年7月29日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都府城陽市寺田東ノ口16番地、17番地		氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 城陽市長 橋本 昭男
環境マネジメントシステムの名称	城陽市環境マネジメントシステム（ISO14001）	
適用範囲	本庁舎、寺田分庁舎、城陽市男女共同参画支援センター、上下水道部庁舎、保健センター、学校給食センター	
導入年月日	2003/3/20	
認証番号	E099	
基本方針	別紙①のとおり	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	①日常共通事務の省エネ省資源、リサイクルの推進 電気使用量 平成19年度比4.9%削減 ガス使用量 平成19年度比4.9%削減 ガソリン・重油使用量 平成19年度比4.9%削減 水道水使用量 平成19年度比4.9%削減 紙の使用量 平成19年度比4.9%削減 ごみの排出量 平成19年度比4.9%削減 ②各所属の環境配慮事業ごとに設定（※別紙②のとおり）	
目標を達成するための取組の内容	①日常共通事務の省エネ省資源、リサイクルの推進 昼休みの消灯、適切な空調管理、両面印刷の徹底など手順書に基づいた取り組みを実施した。 ②各所属の環境配慮事業ごとに設定 実施計画に基づき取り組みを行った。	
目標を達成するための取組の進捗状況	①日常共通事務の省エネ省資源、リサイクルの推進 電気1,907,429.2kwh (平成19年度比 1.8%減) ガス66,826.40m3 (平成19年度比 0.2%減) ガソリン・重油等155,412.2ℓ (平成19年度比 4.5%減) 水道水42,567.0m3 (平成19年度比 5.8%増) コピー用紙使用枚数5,294,500枚 (平成19年度比 18.4%減) ごみ排出量78,697.9kg (平成19年度比 16.4%増) ②各所属の環境配慮事業ごとに設定 各事業ごとに進捗を管理。実施計画どおりに実施した。	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	①目的・目標における日常共通事務の省エネ省資源、リサイクルの推進活動を、全課共通項目として積極的に取組みを進めたが、紙の使用量を除き、未達成が発生した。 ②各所属の環境配慮事業について、環境目標を達成した。	
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の遵守状況について、年2回遵守評価を実施した。（違反等無）	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	内部環境監査での指摘事項が昨年度と比べ減少しており、システムが一定成熟してきたと考えている。 今後はシステムのレベルアップ、職員の意識の底上げを図りながら、内部環境監査の結果、及び環境管理責任者の改善提案を踏まえて、システムが適切、かつ実効性のあるものとなるよう改善に努める。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。